

赤十字しが

2020
vol.2



もっと伝えたい、滋賀の赤十字。

Contents

- 令和元年度 活動報告
- 令和元年度日本赤十字社滋賀県支部の決算のご報告
- 新型コロナウイルス感染症に対する赤十字の動き（滋賀県支部編）
- ひと工夫で簡単、超便利！ 赤十字防災ボランティアおすすめのスゴ技はコレ！



日赤滋賀県支部
WEBサイト

4月

17(水)～
18(木)

奉仕団委員長会議・研修会を開催

■赤十字ボランティアのリーダーを養成

Apr

滋賀県支部では、赤十字の理念に賛同し、地域で活動する赤十字奉仕団の養成に取り組んでいます。今回の会議・研修会は、県内の奉仕団のリーダーである各地域の委員長50人が対象です。委員長らは、赤十字や奉仕団活動の講義を受けたほか、奉仕団活動を活発化させるための方策を考えるグループワークなどのプログラムに熱心に取り組みました。これからは県内約15,000人の赤十字奉仕団員が「困っている人や苦しんでいる人の役に立ちたい」という思いを胸に、活動を続けていきます。



5月

1日(水)～
31日(金)

「赤十字運動月間」キャンペーン

■彦根市で啓発活動を実施しました。

May

日本赤十字社では、日本赤十字社の前身である「博愛社」が創設された日に加え、赤十字の創始者アンリー・デュナンの誕生日でもある5月を「赤十字運動月間」とし、全国で赤十字の理念や活動への理解と協力を呼びかけるキャンペーンを実施しています。

滋賀県支部でも彦根市役所前道路と夢京橋キャスルロードにおいて赤十字フラッグを掲揚し、赤十字の「人間のいのちと健康、尊厳を守る」活動への理解の促進に努めました。



6月

15日(土)

災害の発生に備えて

■日本赤十字社第4ブロック合同災害救護訓練を実施

June

大規模災害時に必要な医療、保健・衛生等の知識とさまざまな状況に適切に対応できる能力を習得することを目的に、6月15日に近畿2府4県(第4ブロック)の日本赤十字社各支部の救護班や赤十字ボランティアなどが一堂に会して救護訓練を実施しました。令和元年度は滋賀県支部が当番県となって準備を進め、竜王町総合運動公園をメイン会場に485人が集まり避難所での避難者対応や巡回診療の訓練を行いました。



9月

12日(木)～
18日(水)

マレーシアの高校生ら、滋賀を訪問 各地で交流

■近畿ブロック青少年赤十字国際交流事業を実施

September

9月12日から18日、マレーシア赤新月社高校生メンバーと指導者15人が滋賀を訪れ、交流を行いました。近畿(2府4県)支部が合同で実施する国際交流プログラムで、今回が14回目。両国の高校生らが交互に訪問し、国際理解を深めることがねらいです。守山市内で開催した国際交流集会には海外メンバーのほか、近畿各地の高校生、指導者ら計63人が集まり、歌やダンスを披露したり文化の違いを学びました。海外メンバーらは滋賀県立国際情報高校も訪問し、授業に参加するなど熱心に交流を図りました。



10月

19(土)～
20(日)

1泊2日避難所まると体験

■赤十字防災ボランティア研修会を開催

October

地域での防災学習に必要な知識や技術を学ぶため、滋賀県支部では赤十字防災ボランティアを対象に年数回の研修会を実施しています。

研修会は、廃校となった体育館を実際の避難所に見立てておこなわれ、防災ボランティアは、被災者の受け入れシミュレーションやレイアウトの検討、段ボールベッドの組み立てなど実践的な内容に取り組みました。



11月

20日(水)

赤十字の活動を見て・聞いて・体験！

■「赤十字体験バス」を実施

November

赤十字活動資金の募集にご協力いただく自治会や民生委員の方々を対象に、支部庁舎へお越しいただき、赤十字が行う事業を体験していただく「赤十字体験バス」を開催しました。

皆さまからお寄せいただく活動資金がどのように使われるかを知っていただく機会となり、参加者からは「今までよく分からず協力していたがよく理解できた。」など嬉しいご意見をいただきました。



11月

23日(土)

企業・団体と共同で「苦しむ人を救う」活動を実践

■びわこフェスタ2019にて赤十字活動を啓発しました

November

第20回滋賀県中小企業青年中央会まつり「びわこフェスタ2019」にブースを出展し、事業パネル・救援物資の展示や、AED体験、子どもに向けた避難所で役立つ防災グッズ製作体験を実施しました。

滋賀県支部では、企業・団体の皆さまとパートナーシップを結び、共に社会に貢献する活動を行いながら、相互に発展できる関係の構築を推進しています。



12月

1日(日)～
25日(水)

「NHK海外たすけあい」キャンペーン

■「NHK海外たすけあい」キャンペーンの募金活動を実施

December

日本赤十字社では、毎年12月1日から25日まで世界各地の紛争や自然災害、病気で苦しむ人々への支援のため「NHK海外たすけあい」キャンペーンを実施しています。キャンペーン期間中、滋賀県支部では大津市赤十字奉仕団員や青年赤十字奉仕団員、大津赤十字看護専門学校学生が街頭募金を行いました。



令和元年度

日赤滋賀県支部決算のご報告

令和元年度も日本赤十字社滋賀県支部では、皆さまからお寄せいただいた活動資金により、災害救護をはじめ、救急法などの講習普及事業、ボランティアの育成など人びとの健康で安全な暮らしを守るための事業を実施することができました。

事務所の
維持・管理のために
806万8千円

翌年度繰越金
2,801万円

歳入

活動資金収入…………… 3億6,884万6千円

その他の収入…………… 4,063万1千円

歳入合計…………… 4億947万7千円

支部事業の運営のために
3,709万8千円

赤十字運動の
推進と広報活動に
1,967万1千円

健康・安全のための
知識と講習普及のために
358万2千円

赤十字病院の医療体
制の充実や献血の推進に
1,590万円

市や町の赤十字活動
のために
1,343万4千円

歳出

4億
947万7千円
※2

災害救護活動と救護
体制の強化のために※1
2億491万6千円



青少年赤十字とボランティア
の育成のために
2,459万6千円



本が行う国内・国
際救援活動のために
5,420万3千円



※1 災害対応等に備えるための積立金を含みます。

※2 千円未満を切り捨てているため、円グラフの合計金額と
各項目の合計金額は一致しません。

活動資金ご協力法人・団体のご紹介

日本赤十字社滋賀県支部の活動は、皆さまのご支援に支えられています。活動資金のご協力、誠にありがとうございます。

■大津市

- ・(株)近江潜建
- ・三陽輸送(株)
- ・滋賀トヨペット(株)

■彦根市

- ・熊谷電工(株)
- ・(株)平和堂

■長浜市

- ・(株)GROWRISE
- ・(有)鶴美

■近江八幡市

- ・(有)岡田工業

■高島市

- ・(有)天平フーズ

■東近江市

- ・日星自動車(株)

■甲良町

- ・中央環境サービス(株)

※2019年度中に5万円以上の活動資金をお寄せいただいた方のうち、掲載をご承いただいた法人・団体のみ掲載しております。(敬称略・順不同)
上記以外に46社・団体の皆さまからもご支援をいただきました。

人々のいのちと健康を守るために



《滋賀県への人的支援》

滋賀県からの要請に基づき、感染者の入院先調整業務等を支援するため、滋賀県COVID-19災害コントロールセンターへ大津・長浜の各赤十字病院から医師3人、看護師2人、事務職2人、薬剤師1人、臨床工学士1人を派遣しました。

また、滋賀県が立ち上げた軽症者等の宿泊療養施設（大津市）での受入れ支援のため、同じく大津・長浜の各赤十字病院から延べ医師1人、看護師6人、薬剤師1人、事務職5人を派遣しました。



《赤十字病院での感染者受入れ》

大津・大津志賀・長浜の各赤十字病院では、厚生労働省をはじめ各行政機関からの要請に応じ、帰国者・接触者外来の設置や感染者等の受入れ・治療にあたっています。

血液を待つ 人たちのために



滋賀県赤十字血液センターでは、献血会場での安全と飛沫感染予防対策として、検温や消毒の徹底、スタッフのフェイスシールドの着用などを実施しました。また、献血者を確保するため、約2,000世帯へのチラシのポスティングや延べ5,000人を超える県民の皆さまへ電話での献血依頼を実施しました。



マスク不足で 困っている人のために



滋賀県内の地域奉仕団50団は、滋賀県が新型コロナウイルス感染症対策の一環として実施した「マスク配布プロジェクト事業」に協力し、約1万枚のマスクを作製しました。マスクは、子ども食堂等県内の事業者へ配布されました。



ひと工夫で簡単、超便利!



赤十字防災ボランティアおすすめの**スゴ技**はコレ!

最近では便利な防災グッズがたくさんありますが、すべてを買いそろえると結構な出費になります。それと、保管場所も大変。そこで、今回は買い足し不要で工夫ひとつで効果抜群の豆知識を紹介します。

【必要なもの】

懐中電灯、水の入ったペットボトル

【おすすめの理由】

ペットボトルランタンの良いところは、避難所で個人の明かりがとれるだけでなく、停電時など自宅で広範囲に明かりをとりたいときに便利です。そして、なんと言っても「簡単」です。



ペットボトルに水を入れて、懐中電灯の上に乗せる。

【さらにひと工夫】



他にも手作りグッズが...



牛乳などの白い液体を数滴混ぜると、まぶしくなく柔らかい光を作ることができます。

上記の豆知識やグッズの紹介、防災に関する講座は、みなさまの地域や学校で開催することができます。詳細は滋賀県支部までご連絡ください。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

滋賀県支部

〒520-0044 大津市京町4丁目3番38号
TEL.077-522-6758 FAX.077-523-4502
<https://www.shiga.jrc.or.jp/>



表紙：大津赤十字看護専門学校学生 長谷川 幸穂 さん